

Clostridioides (Clostridium) difficile 感染症治療 当院推奨

Clostridioides (Clostridium) difficile 感染症診療ガイドラインの改訂について

このたび、当院の*Clostridioides (Clostridium) difficile* 感染症診療ガイドラインを改訂しました。重症度評価をよりわかりやすくし、当院推奨治療薬（別添付）を明確にしました。電子カルテのマイツールには総論も載せていますので、ぜひご活用ください。

<改訂のポイント>

- ・臨床検査は、ブリストール・スケール 5以上の下痢便検体の提出が望ましい。
- ・重症度を評価する確立した指標はないが、白血球>15,000/ μ L または Cr \geq 1.5 mg/dLの場合に重症とする。
- ・非重症・重症ともに、初回はメトロニダゾール内服治療を推奨する。錠剤服用が困難な場合には粉砕投与を考慮する。
- ・再発例には、バンコマイシン内服を推奨する。
- ・劇症例等で内服が不可能な場合にメトロニダゾール点滴注射を考慮する。

皮膚外用薬の1回最大投与量の目安について（当院の場合）

近年、ステロイド外用薬、皮膚保護薬、褥瘡治療薬以外にも様々な種類の外用薬が発売されており、1回の処方量について問い合わせを受けることが増えています。

ステロイド外用薬による全身性副作用を避けるための安全塗布量の目安については、2015年度に院内薬事委員会で決定した処方上限量の目安がありますので、2016年1月発行のDI ニュース No. 558 をご参照ください。

今回は保険診療の観点から1回に処方可能な投与量の目安について各メーカーから回答頂いた内容を一覧にしました。

実際の臨床現場での処方量は症状や部位、塗布範囲などの観点から考えるとメーカー回答よりもはるかに多い量が必要になることもあります。

また、地域によって1回に処方した際の審査で認められる量が異なる可能性がありますので、他の病院で処方されていた量と当院では処方出来ないこともありますので注意が必要です。

参考資料；各メーカー回答、添付文書

—今月号の目次—

- ①<今月のトピック1>*Clostridioides (Clostridium) difficile* 感染症治療 当院推奨 P1
- ②<今月のトピック2>皮膚外用薬の最大投与量の目安について P1~2
- ③<DI情報>副作用報告、プレアボイド報告、採用薬変更のお知らせ P2~3
- ④*Clostridioides (Clostridium) difficile* 感染症治療 当院推奨 付表 P4

種類	最大投与量の目安
ステロイド外用剤	
ステロイドシャンプー ・コムクロシャンプー	
ビタミン D3 製剤 ・ドボネックス軟膏 ・オキサロール軟膏 ・ボンアルファ軟膏	
ビタミン D3 +ステロイド製剤 ・ドボベット軟膏 ・マーデュオックス軟膏	
ビタミン D3 +ステロイドフォーム剤 ・ドボベットフォーム	
プロトピック軟膏	
JAK 阻害薬 ・コレクチム軟膏	
爪白癬治療薬 ・クレナフィン	
爪白癬治療薬 ・ルコナック	
抗真菌薬 ・アスタット他	
ヒルドイド軟膏	
尋常性ざ瘡治療薬 ・ディフェリングル	
抗菌ざ瘡治療薬 ・ベピオゲル	
混合ざ瘡治療薬 ・エピデュオゲル	
抗菌薬 ・ゼビアックス	
抗ウイルス薬 ・アラセナ軟膏	
汗腺治療薬 ・エクロック	

※この箇所の公開は控えさせていただきます

DI 情報

【副作用報告】

DI 委員会 10 月報告 副作用検討：協同 3 件、秩父 2 件

No	被疑薬	副作用症状	グレード	院所	評価
1	トラマールOD錠 25mg	プロトロンビン時間延長	3	協同	可能性あり
2	プラリア皮下注 60mg シリンジ	肺炎	3	協同	可能性あり
3	コミナティ筋注用	アナフィラキシー	3	協同	可能性あり
4	エナラプリルマレイン酸 5mg	便秘	1	秩父	可能性あり
5	アムロジピン錠 2.5mg 「オーハラ」	頭痛	1	秩父	可能性あり

【気になる事例の紹介～プレアボイド報告より～】 8 月分

薬剤名	経過・内容
セララ	スピロラクトン錠からセララ(25mg)錠へ変更となる。カルテより肝硬変と記載あり。セララ錠は肝硬変に禁忌となっている。医師へ問い合わせし、スピロラクトンで継続となった。
フェキソフェナジン	花粉症でフェキソフェナジンが処方となったが、現在マグミット(330)3T/3x で服用中。フェキソフェナジンはマグミットと同時服用で効果減弱する。服用タイミングをずらしても良いが、他のアレルギー薬に変更を提案し、エバスチンへ変更となった。
カリメート	カリメート DS 3 包 3 × 毎食後でオーダーあり。朝食後にレボチロキシリン Na を服用しており、カリメートと同時服用でレボチロキシリン Na の吸収低下が懸念されるため問い合わせ。直近の K 値より、3 包 3 × → 2 包 2 × 昼夕食後へ変更となった。

【採用薬変更のお知らせ】 (県連薬事委員会 10 月報告より)

新規採用・新規試用				採用削除		
変更理由	メーカー	薬品名	薬価	メーカー	薬品名	薬価
販売中止に伴う変更	大塚製薬工場	ヘパリン Na ロック用 10 単位/mL シリンジ「オーツカ」5mL/10mL	84 円	武田デバ	ヘパリン Na ロック用 10 単位/mL シリンジ 5mL/10mL 「デバ」	90 円
採用削除				扶桑	生理食塩液バッグ「フソー」(250mL)	159 円
販売中止				日医工	ベンコール配合錠	
				持田	プロゲデポー筋注 125mg	
				持田	ペラニンデポー筋注 5mg	
他剤形へ変更	シンバイオ製薬	トリアキシン点滴静注 100mg/4mL	96070 円	シンバイオ製薬	トリアキシン点滴静注用 100mg	95764 円
後発品変更	大鵬薬品工業	パロノセトロン塩酸塩点滴静注バッグ 0.75mg 「タイホウ」	5472 円/袋	大鵬薬品工業	アロキシ点滴静注バッグ 0.75mg	14976 円
新規試用	日本イーライリリー	エムガルティ皮下注 120mg オートインジェクター	45165 円			
	日本イーライリリー	ジプレキサザイデイス錠 5mg/10mg	150.4 円/5m			
	ユーシービー・ジャパン	ビムパット点滴静注 100mg	2459 円			
	スミス・アンド・ネフ	カデックス軟膏 0.9%	60.3 円			
公知申請	太陽ファーマ	カイトリル注 1mg	991 円			
試用取消				佐藤製薬	ネイリンカプセル 100mg	817.1 円
新規医材	日本ベクトン・ディック	BD マイクロファイナプロ			BD マイクロファイナプロス	

情報の提供・お問い合わせは、埼玉協同病院薬剤科 DI 室 (048-296-8308) までどうぞ

担当 井澤・中村・木村